

第4回宗像市総合計画策定審議会会議録

日 時	令和6年10月28日(月) 19時00分~21時00分
場 所	市役所304会議室
出席者	<p>【委員】 相部 麻里 市丸 直人 大淵 裕三子 小川 里美 北野 真市 クレシーニ アン 小林 愛里 高松 美香 高山 國敏 藤森 一行 松尾 真由美 南 博 山下 永子 吉武 哲信</p> <p>【欠席】 中野 和久</p> <p>【事務局】狩野課長 松山係長 山口 川瀬 原田</p>
審 議	<p>(1) 基本構想 素案について</p> <p>(2) 総合戦略について</p>
報 告	(1) 基本計画の進捗状況について
その他	(1) 今後のスケジュールについて

1 開会

2 審議

(1) 基本構想 素案について

事務局説明(まちの将来像・基本構想の骨格)

(質疑等)

〈将来像・基本構想〉

(委員) 将来像の「ずっと住みたいまち宗像」という表現は好きだが、宗像が住みづらいために出ていった外国人の友達がたくさんいる。外国人や留学生など多様性についての記載があってもいいのではないか。

(事務局) 多様性については「自分らしく挑戦できる」に含めている。説明資料の右側に「望む生活を送るために、多様性を尊重し、誰もが挑戦できる環境を住民、行政がともに整える」と記載をしている。

(委員) 将来像の「世界遺産がある海と生きる」の表現では、世界遺産があるのは海という意味にとれる。古墳等の関連遺産群は海にないため表現に違和感がある。

(委員) 海があつての世界遺産であると思う。「世界遺産が育まれた海と生きる」という表現はいかがか。

(事務局) 意見を踏まえて、表現については庁内で再度検討する。

(委員) 産業の分野目標について、「資源を活かし」を削除し「新たな価値の創出に挑戦できるまち」という表現にして、基本計画で地域資源を活用する産業を

支援する内容を盛り込んではいかがでしょうか。将来像の「自分らしく挑戦できる」の部分とも連動すると思う。

(事務局) 産業の分野目標の「資源」は、地域の農産物はもちろん、市外の企業や人なども含めた表現である。共通の視点の「地域資源」とはまさに地域の農産物など物の資源である。そういった使い分けをしているため、現在の表現のままをしたい。

(委員) 子育ての分野目標について、子どものことは記載されているが、子育てする側のことが含まれていないように感じる。子育てする人を支えるような文言を盛り込むことはできないか。

(事務局) こども家庭庁が発足した流れもあり、今回 10 年後の目標を立てるに当たっては、子どもを中心とした表現にしている。この目標をかみ砕いていくと、子どもを育てる側への支援もやっていくことになっており、基本構想にはそういった視点も盛り込まれている。骨格として表現するに当たっては、入れられる文言等にも制限があることにご留意いただきたい。

〈共通の視点〉

(委員) 共通の視点の「デジタルの活用」は当たり前の内容であり、「デジタル社会の推進」「デジタル社会への対応」などもっと大きな話ではないか。表現について見直した方がよい。

(事務局) 意見を踏まえて、表現については庁内で再度検討する。

〈基本計画〉

(委員) 基本計画の安全・安心分野について、「消防団活動の充実」を「防災・減災対策の強化」の後ろに持ってきた方が、消防と警察の並びで施策の整理ができるのではないか。

(事務局) 意見を踏まえて、安全・安心ワーキンググループで検討する。

(委員) 基本計画の産業分野について、「地域の賑わいづくり」とはどういった内容の施策か。

(事務局) 観光に関する施策である。

(委員) 賑わいという言葉はまちのイベントなどでよく使う表現なので、賑わいが観光施策とは認識しづらい。

(事務局) 宗像市では国道 495 号線沿いの賑わいづくり等に以前から取り組んでおり、観光含めた地域の賑わいづくりという意図で施策名称を設定している。

(委員) 基本計画の市民協働分野では、「自他を尊重した共生社会の実現」とあるが、外国籍の方を含む、多様な方々への社会包摂的な内容は、基本計画のどの分野に該当するか。

(事務局) 市民協働の分野に該当する。

(会長) 将来像の「世界遺産がある海と生きる」と、共通の視点の「デジタルの活用」については、表現含め庁内の然るべき会議の場に委ねることとして、将来像の指し示す意味や基本的な文言について、本審議会で承認することについて異議ないか。

(委員) 異議なし。

事務局説明(基本構想(案)について)

〈Ⅰ. 総合計画について_3. 計画の進行管理〉

(委員) PDCA に関する記載内容の抽象度が高すぎる。

(会長) 掲載するのであれば、基本構想・基本計画の進捗管理について詳しく記載した方がよい。

(事務局) 記載内容と掲載場所についても検討する。

〈Ⅱ. 宗像市を取り巻く環境_1. 国内外の社会情勢の変化〉

(委員) 外国籍の方が 1000 人程度おり、そのうち特定技能と実習が 350 人くらいで、ベトナムの方が外国籍の中で一番多い現実を考えると、(2) 労働力不足の顕在化では、必要なエッセンシャルワーカーの不足などサービス業については記載があるが、現実的には一次・二次・産業の現場労働者が不足しており、そこを外国籍の方で補っているところが顕在化しているのではないかと思う。労働力不足の表現が偏っており、日本人のことしか考えてないところが気になる。(8) 多様性の尊重では、地域社会への包摂についてしっかり記載しないとけない。一次・二次産業を支える労働力は外国籍の方であり、住民として、共に働く人として地域に包摂していくことを盛り込むべきではないか。

(事務局) 意見を踏まえて記載内容を検討する。

(委員) 11 項目はどういった基準で選抜した内容であるか。低所得者層の増加により、闇バイトなど国内で問題になっており、子育てのやりにくさなども低所得に絡んでいると思う。所得の問題は市民生活のベースであるため、社会情勢としては整理しておく必要があると思う。

(事務局) 世間一般的な内容と、基本構想の 10 分野との連携も配慮しながら各項目を記載している。

〈Ⅳ. 将来像を構成する 10 の分野〉

(委員) 多様性は教育分野が担う部分大きいと思う。教育分野の目標にある「誰もが」に多様性が含まれるものと解釈しているが、その下の説明文からは読み取り取りづらい。基本計画への繋ぎとして、説明文の中にも多様性について記

載がある方がよいのでは。

(事務局) 説明文や学校教育関係の施策で多様性をどう表現するかについては、教育ワーキンググループで検討する。

(委員) 市民協働分野の説明文で協働のニュアンスがすごく弱い。市民協働ではなく市民参画に置き換えた方がくらいの内容になっている。

(会長) 市役所の職員や市民参画関連の活動をされている方には違和感なく理解いただけるが、一般的な目線で見ると協働が弱く感じる。

(委員) 人権的な記載が全くない。市民協働分野に人権が含まれるのであれば、書き込みを検討いただきたい。

(事務局) 2 つ目の説明文が人権の内容であり、それが基本計画に繋がっている。

(委員) 多様性の本質は不平等や不公正、疎外されている人たちの状況を是正することである。そこをしっかりと表現していただきたい。

(委員) 多様性という言葉が多用されており、ほとんどの人が意味を分かっていない。具体的に不平等や不公平などの言葉を使っていいのではないか。

(委員) 協働のまちづくりを目指すと言って、行政がやるべきことを市民に投げるように感じられる表現には気を付けてもらいたい。

(事務局) 意見を踏まえて、市民協働ワーキンググループで検討する。

(委員) 産業分野の説明文について、内容が大まかなので目標に連動して内容を充実されてほしい。

(事務局) 意見を踏まえて、産業ワーキンググループで検討する。

(会長) 審議会の意見を踏まえて十分に内容を検討することを前提に、基本構想(案)について、基本的に承認することについて異議ないか。

(委員) 異議なし。

(2) 宗像市総合戦略について

事務局説明

(質疑等)

(会長) 1ヶ月前に発足した現政権において、地方創生交付金の倍増といったことも言われているが、それによる国からの要求や補正予算の動向は分からない状況である。今後、地方創生関連の政策が示され、総合戦略とは違う形の地方創生関連の計画等の策定を求められた場合には、総合計画の基本計画部分から抜粋して策定していくという認識でよいか。

(事務局) その認識で間違いない。

(会長) 基本計画がまとまり次第、まち・ひと・しごと創生総合戦略の取りまとめ

を進めていくことについて異議はないか。

(委員)異議なし。

3 報告

(1) 基本計画の進捗状況について

事務局説明

(質疑等)

(委員)外国籍の方は宗像に仕事があるから送られてきた人たちである。一歩進んで包摂的なニュアンスをどこかに入れられるとよい。

(委員)シティコミュニケーションとは宗像市独自の定義か。一般的ではない言葉が冒頭にあると見た人が困惑するのではないか。

(事務局)独自の造語である。標記については検討する。

(委員)教育分野で日本語指導の充実を入れてほしい。今いる人員で必死に対応しているが、今後10年を考えると日本語指導の需要が高まる可能性があるため。

(事務局)意見を踏まえて、教育ワーキンググループで検討する。

(委員)安全・安心分野の施策において、市の計画においては「公助・共助・自助」の順にやるべきことを記載するべきではないか。現状では市がやるべきことが後ろに位置している。

(事務局)意見を踏まえて、安全・安心ワーキンググループで検討する。

(委員)子育てのKPIで「子育てを楽しいと感じる保護者の割合」とあるが、安心してというニュアンスのほうがいいのではないか。

(事務局)総合計画の KPI 検討に合わせて、市民アンケートの設問についても見直しを行っている。意見を踏まえて、子育てワーキンググループで検討する。

(事務局)本審議会の後、委員の皆様から基本計画に関する意見を収集させていただき、各ワーキンググループでの検討に反映させる。

4 その他

(1) 今後のスケジュールについて

5 閉会